



2021年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2020年8月12日

上場会社名 中部水産株式会社 上場取引所 名
 コード番号 8145 URL <https://www.nagoya-chusui.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 脇坂 剛
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 中川 正一 TEL 052-683-3001
 四半期報告書提出予定日 2020年8月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第1四半期の業績（2020年4月1日～2020年6月30日）

(1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	8,989	△7.8	55	△3.8	103	△5.2	69	△12.7
2020年3月期第1四半期	9,746	0.2	57	269.6	109	75.3	79	75.6

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第1四半期	39.25	—
2020年3月期第1四半期	44.97	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第1四半期	14,909	12,339	82.8
2020年3月期	14,575	12,313	84.5

(参考) 自己資本 2021年3月期第1四半期 12,339百万円 2020年3月期 12,313百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	40.00	—	40.00	80.00
2021年3月期	—	—	—	—	—
2021年3月期（予想）	—	40.00	—	40.00	80.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2021年3月期の業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

2021年3月期の業績予想につきましては、新型コロナウイルスによる感染拡大の影響により現時点では合理的な算定が困難であることから未定としております。当該業績予想の開示は、可能となった時点で改めて実施する予定です。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期1Q	1,926,900株	2020年3月期	1,926,900株
② 期末自己株式数	2021年3月期1Q	165,623株	2020年3月期	165,623株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期1Q	1,761,277株	2020年3月期1Q	1,761,377株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

業績予想につきましては、本資料の発表時期現在において合理的な業績予想の算定が困難であるために記載しておりません。詳細は、添付資料の3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第1四半期累計期間	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間における当社の営業基盤である東海経済は、本年の3月頃より続く新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、投資計画を見直す動きもあって、牽引役の製造業が受注低迷により生産活動が停滞している中で、雇用環境の急速な悪化に、外出自粛要請の影響も重なって個人消費が振るわず、先行きは不透明な状況で推移しております。

当業界におきましては、水産資源保護のための漁獲制限、温暖化による海水温の変化などを起因とした漁獲量の変動、4月に発令された緊急事態宣言の解除後も続く自粛ムードで、宿泊や外食向けに販売が低迷した影響もあり、高級魚の価格が下げ止まらず厳しい経営環境となりました。

このような外部環境のもとで、当社は、限られた水産資源での販売競争に対応した調達力、営業力の強化を図るとともに、業務の効率化や諸経費の削減を推し進めるなど、業績の向上と企業体質の強化に取り組んでまいりました。

この結果、売上高は、卸売部門で取扱数量が減少したことに加え、高級魚を中心に販売単価が下落し減収となるなど、全体で8,989百万円(前年同四半期比7.8%減)となりました。経常利益は、卸売部門における利益率低下に伴う売上総利益の減少を、一般管理費の減少では補うことができず、103百万円(前年同四半期比5.2%減)となり、四半期純利益は69百万円(前年同四半期比12.7%減)となりました。

売上面に関しては、自然の影響を受けやすい天然魚の漁獲量減少に対応するため、出荷者とのコミュニケーションを深めるとともに、養殖魚や他魚種の更なる集荷に努め安定供給を図ります。また、2019年7月に持続可能な水産物のサプライチェーンに付与されるマリン・エコラベル・ジャパン(MEL)の認証を取得しており、資源や環境に配慮した水産物の取扱いにも関わってまいります。利益面では、個々の取引条件の見直しや工場原価及び一般管理費の削減に努め、利益率の改善を図ります。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

(卸売部門)

鮮魚は、加工原料向け養殖本マグロが需要増で好調に推移し、スルメイカ、ツバスが水揚良好による入荷増、養殖アワビの取扱いも増加し売上増となりました。一方、生鮮キハダマグロの輸入が減少するとともに、養殖ウナギもシラスの生育が悪く取扱いが減り、天然ハマチの入荷減、高級魚である養殖マダイ、養殖クルマエビ、ウニの単価安があり全体では減収となりました。

冷凍魚は、ズワイガニが加工業者向けに原料販売が伸長し売上増となりましたが、天然インドネシアエビ、北海道産ボイルホタテ、アカウオは外食向けの需要減もあり減収となりました。

加工食品は、チリ産の銀サケフィーレ、イクラ製品、健康志向ブームによる納豆製品、ブランド色がある餃子などの中華総菜、ホッケ、アジ等の干物の販売が好調で売上増となりました。一方、ノルウェー産アトランティックサーモンが価格高により取扱いが減少し、小女子も不漁で売上減となるなど全体では減収となりました。

この結果、売上高は8,633百万円(前年同四半期比8.2%減)、営業利益85百万円(同11.0%減)となりました。

(飼料工場部門)

配合飼料向け魚粉の原料販売が増加するなど増収となりました。

この結果、売上高は198百万円(前年同四半期比10.2%増)、営業利益は0百万円(同98.0%減)となりました。

(冷蔵工場部門)

コンビニや量販店向けの冷凍食品で順調な在庫が続き売上増となりましたが、休校により学校給食用の食材や中国からのコンテナ貨物の在庫が減少となるなど、減収となりました。

この結果、売上高は114百万円(前年同四半期比4.8%減)、営業利益は23百万円(同31.9%増)となりました。

(不動産賃貸部門)

主な事業である賃貸マンションが順調に稼働した結果、売上高は41百万円(前年同四半期比13.4%増)、営業利益は24百万円(同11.4%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期会計期間末における総資産は、14,909百万円となり、前事業年度末に比べ334百万円(2.3%)増加しました。これは主に、現金及び預金の減少426百万円、投資有価証券の減少172百万円などがありましたが、有形固定資産の増加451百万円、有価証券の増加401百万円、売掛金の増加91百万円などによるものであります。

負債は、2,569百万円となり、前事業年度末に比べ308百万円(13.6%)増加しました。これは主に、買掛金の増加293百万円などによるものであります。

純資産は、12,339百万円となり、前事業年度末に比べ25百万円(0.2%)増加しました。これは主に、その他有価証券評価差額金の増加27百万円によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想については、現時点では、新型コロナウイルス感染症の影響が先行き不透明となっており、適正かつ合理的な算定が困難なため、引き続き未定とさせていただきます。

今後、新型コロナウイルス感染の動向を見極めながら、業績予想の算定が可能となった段階で改めて公表いたします。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位:千円)

	前事業年度 (2020年3月31日)	当第1四半期会計期間 (2020年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,063,433	2,637,322
売掛金	1,861,382	1,953,236
有価証券	1,801,277	2,202,296
商品及び製品	2,064,812	2,113,208
仕掛品	22,023	32,053
原材料及び貯蔵品	250,455	188,742
その他	10,606	7,062
貸倒引当金	△11,055	△11,436
流動資産合計	9,062,935	9,122,485
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	769,741	761,072
その他(純額)	1,045,151	1,505,819
有形固定資産合計	1,814,892	2,266,891
無形固定資産	62,080	58,461
投資その他の資産		
投資有価証券	3,533,856	3,361,532
その他	142,129	136,018
貸倒引当金	△40,726	△35,748
投資その他の資産合計	3,635,259	3,461,802
固定資産合計	5,512,232	5,787,156
資産合計	14,575,167	14,909,641
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,386,022	1,679,046
受託販売未払金	111,456	102,355
未払法人税等	64,493	39,053
賞与引当金	42,410	12,018
役員賞与引当金	7,795	—
その他	170,794	249,420
流動負債合計	1,782,971	2,081,893
固定負債		
退職給付引当金	346,184	349,869
その他	132,141	138,168
固定負債合計	478,326	488,038
負債合計	2,261,298	2,569,932

(単位:千円)

	前事業年度 (2020年3月31日)	当第1四半期会計期間 (2020年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,450,000	1,450,000
資本剰余金	1,045,772	1,045,772
利益剰余金	10,098,938	10,097,624
自己株式	△641,839	△641,839
株主資本合計	11,952,871	11,951,556
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	360,998	388,152
評価・換算差額等合計	360,998	388,152
純資産合計	12,313,869	12,339,709
負債純資産合計	14,575,167	14,909,641

(2) 四半期損益計算書
(第1四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
売上高	9,746,740	8,989,083
売上原価	9,302,535	8,579,565
売上総利益	444,204	409,517
販売費及び一般管理費	387,042	354,508
営業利益	57,161	55,009
営業外収益		
受取利息	5,340	4,452
受取配当金	34,917	34,478
その他	12,368	10,016
営業外収益合計	52,626	48,947
営業外費用		
雑損失	87	—
営業外費用合計	87	—
経常利益	109,700	103,957
税引前四半期純利益	109,700	103,957
法人税、住民税及び事業税	35,107	42,581
法人税等調整額	△4,610	△7,761
法人税等合計	30,496	34,820
四半期純利益	79,203	69,136

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期累計期間(自2019年4月1日至2019年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注) 1	四半期 損益計算書 計上額 (注) 2
	卸売部門	飼料工場 部門	冷蔵工場 部門	不動産賃貸 部門			
売上高							
外部顧客への 売上高	9,408,974	180,549	120,363	36,852	9,746,740	—	9,746,740
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	1,819	—	29,911	—	31,731	△31,731	—
計	9,410,793	180,549	150,275	36,852	9,778,471	△31,731	9,746,740
セグメント利益	96,363	8,575	17,763	21,819	144,522	△87,361	57,161

(注) 1 セグメント利益の調整額△87,361千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

II 当第1四半期累計期間(自2020年4月1日至2020年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注) 1	四半期 損益計算書 計上額 (注) 2
	卸売部門	飼料工場 部門	冷蔵工場 部門	不動産賃貸 部門			
売上高							
外部顧客への 売上高	8,633,735	198,980	114,589	41,778	8,989,083	—	8,989,083
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	1,453	—	27,136	—	28,590	△28,590	—
計	8,635,188	198,980	141,726	41,778	9,017,673	△28,590	8,989,083
セグメント利益	85,784	170	23,426	24,304	133,686	△78,676	55,009

(注) 1 セグメント利益の調整額△78,676千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。